

■目次

●今月のことば	佐々木哲生
●表紙のことば	大橋 功
「ながさきえき」	功
●巻頭	2
第25代専如門主伝灯奉告法要はじまる	羽溪 了
●巻頭言	4
難中の難「こどもの表現活動」	松田くみ子
●わたしの保育物語	齊藤 葵
子どもに教えられたこと	柳父 正道
●いま、学ぶ、越える	野呂 昶
先生とご縁から	大蔵 浩子
●園児向け法話	10
一年のはじまり	12
●仏典童話	ねずみの嫁入り
●園長のつぶやき	糸島の自然の中で
「漁業戦隊フィッシュヤーマン」と、共に育つ子ども達。	杉山第三学園
●食育アラカルト・北から南から	うぬま第一幼稚園「後編」
●保育者の心に寄り添うカウンセリング	上滑りな言葉探しから抜け出し
自己肯定感に近づけた幼稚園教諭	なぜ？なぜ？先生
どうして式章をつけるの？	●仏教讃歌
おてらのはとさん	●「まごの保育」のすめ
大悲の温もりのなかで	●教区だより
第六ブロックまごとの保育大学講座	第44回九州地区保育研修長崎大会
●第54回まごとの保育中央講座開催報告	

「ながさきえき」

入口 陽太 (いりぐち ようた) 6歳

教宗寺保育園
(長崎教区)

●表紙のことば●



おおはし いさお
大橋 功
岡山大学大学院
教育学研究科

クレヨンの伸び伸びとした線で、大きな電車とそれを見ている人々が描かれています。車両の青色、パンタグラフなど、電車の特徴をよくとらえています。また、停車している車両の先には、車止めがあり、プラットフォームには、安全のための黄色い点字ブロックがあります。こうした表現を、その場ではなく、思い出して描いていることから、ようた君が、電車や駅にとっても興味を持っていることがわかります。

ようたくんは、画用紙をもらって、ササッとクレヨンで走らせ、あつという間に「できたよ」と言ったそうです。先生が「この電車は何というの？」と聞くと「シーサイドライナー」と答え、その後次々と電車周辺の設備や駅について夢中になって話し、さらに思い出したように「あ、パパとママとこうちゃんも一緒に来たんだよ」と再びクレヨンを持ち、人々を描き出したそうです。先生が作品について聞いてあげることの大切さがよく分かります。